

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念はリビングに掲示し、ケアサービス提供時やご家族との関係等で問題が起きた時など、常に理念に立ち返り検討するように努めています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会夏祭りは一昨年より廃止となったが文化祭への出品など出来る範囲で参加させてもらってる。防災訓練では地域の協力を頂いています。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の小・中学校のボランティア体験の受け入れ、警察学校の実習、看護学校の実習受け入れを行い理解を深めてもらっています。自治会の防災訓練にも参加し連携に繋げています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進委員とは馴染みの関係を築けており地域の皆様との間をつないで頂いてます。問題として議題のマンネリ化が挙げられますが今後の改善に努めていきたいです。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議での報告や機関紙配布にて日々の取り組みを伝えていきます。また困りごとやわからない事など、その都度ご相談し、協力関係作りに努めています。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束には十分に配慮し、職員の防止に向けての意識も高いです。ベットからの転落の危険性がある方に対し、家族の了承を得て4点柵をした経緯が以前（26年1月～26年5月）ありましたが、それ以降は行っていません。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日常における虐待はないと云えます。研修会や勉強会に参加し諸君会議等を通じて職員全体に伝達し意識の向上に努めています。また言葉遣いに対しても互いに気を付け合っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在、制度活用を必要とする利用者はいませんが、研修会に参加し理解に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>制度改正や契約内容に変更が生じた場合は、説明文書を作成し内容理解の確認を行うほか、必要に応じて個別に説明を行っています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご意見を伺った際は、職員会議や臨時ミーティングを通じて迅速に対応し、早い段階で改善状況の報告を行えるよう努めています。事業所側から何か意見がないか伺ったり声にならない声にも気付けるよう気を配っています。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議では、なるべく全員に意見の発言を促し反映に努めています。また人事考課を取り入れ、管理者は定期的に職員と個別面談を行い、一人ひとりの声に耳を傾ける機会を作っています。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員は管理者に個々の事情を伝える機会があり、それを勤務表上に反映させるなど働きやすい職場環境作りに努めている。また代表者と管理者間においても同様に対応しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>定期的に法人内及び事業所内研修を行っている。また専門性の向上に加え、人間性の向上に向けても「職場の教養」や「P H P」などを配布して購読しています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>県グループホーム協議会への加入のほか、各団体による研修案内を通じて同業者との交流機会の確保に努めている。また法人内の他事業所との情報交換や交流会の機会を通じて互いの質の向上に努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前面談や情報提供書により得た情報をもとに一つ一つ声掛け確認しながら信頼関係を築いています。また入居前にはご本人宅を必ず訪問し、生活状況や習慣などの情報を確認し、入所後にお互い困らないようにしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居直後は家族との情報交換をマメに行い、お互いの不安や心配事を早く解決しながら、信頼関係を構築できるよう努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居の理由は様々で、必ずしもご本人とご家族との意向が一致しているばかりではありません。ご本人の生活に大きな変化が生じないよう暮らしの習慣等の情報を徹底して収集し、環境整備に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者の方もそれぞれに応じて役割を持ち、職員も声掛けや対応を変えています。そうすることで、一人一人のバランスが保たれているようです。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族へのご本人の状況報告は、嬉しい情報と言にくい情報を併せて伝えることで現状をスムーズに受け止められるよう配慮しています。そのうえでご本人を支える同じチームとして前に進んでいけるよう努めています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>家族との絆が深く、頻回に外出される方がおられ、長い外出後圧迫骨折を繰り返した方がおられます。体調も心配ですが、今はご家族との絆を優先し、希望の時はいつでも出かけて頂いています。</p>		
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>食材の下ごしらえ、洗濯物たたみ、御膳ふきなど、協力して作業して頂いています。その日の儒教や体調をみながら声かけし、みんなで一緒に作業できるよう工夫に心掛けています。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>入院されてからも面会を重ね、ご家族其々をねぎらい支えています。胃瘻造設予定の方のご家族などには病院看護師よりも職員の方が信頼関係が深いため、面会に重ね声をかけていくなど不安軽減等に努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	思いに寄り添い、職員間で入居者の言葉や行動を伝えあい、思いを推察するよう努めております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人の話や、ご家族からの情報により、生活歴をうかがう機会を積極的に作るようにしています。ご家族との距離が近くなってからのほうが詳しく教えて頂けるようですので関係づくりにも努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々のモニタリングを行い、状況が変わるごとに、職員全体で検討を重ねている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族、主治医、理学療法士など、個々に応じて意見や考えをお聞きし、ケアプランに反映させるように努めています。また職員会議にて全職員でプラン内容の検討を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケア記録は日々の状況だけでなく変化点の記録に努め、申し送りやミーティングで検討した内容を連絡帳にて全職員が共有できるよう図っています。それを介護計画に反映させてます。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	グループホームサービスのみならず、癌末期の方など緩和ケア外来及び訪問看護ステーションと連動したり、また家族間の時間を大切にできる取り組みなどに努めています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者によってはこれまでお付き合いされてこられた近隣友人が訪ねてくることがあります。認知症の進行から理解できないこともあります。職員が知り得ている情報から仲介を行い、ご本人の記憶が想起でき関係を継続できるよう支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族の希望するかかりつけ医の受診が継続できるよう支援しています。途中で主治医を変更する方もいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>健康面の変化や気づきは、看護職員の判断による指示によって対応しています。また医療連携により定期訪問する病院看護師に日常から利用者の健康管理面の相談を行っています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>フェースシートを作成しており、これまでの経過や生活面の情報を迅速に提供できるようにしてあります。また面会を重ね病院職員から直接現状をうかがったり、そのうえで病院と事業所との暮らしぶりに落差が生じないように連携に努めています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>終末ケアの状態になられた場合、ご家族、法人医療連携相談員、管理者、看護師、ケアマネによるカンファレンスを持ち、対応を検討しました。また主治医の意見も取り入れ、ご本人にとって最も望ましい対応を目指しています。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>法人内の研修、施設内の研修において緊急対応について学ぶ機会をもっていますが、緊急時は戸惑いも多く、訪問看護師によって支えてもらいました。それも経験につながっております。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回の、地域を交えた防災訓練を重ねており、職員は、全員が対応できるよう、訓練を行っています。回を重ねるごとに地域の参加者も増え、積極的なご意見も頂き感謝です。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お一人お一人に合った声掛けをし、その都度自己決定を促すなど、尊重した生活を目指しています。馴染みの関係の中、鹿児島弁で話かけますが、言葉を崩しすぎないようにしたいです。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人が嫌がられる時は無理強いをせず様子を見たり、再度声掛けしながら本人の意思を尊重しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日その日の体調や気分等を汲みながら休みたい様子の時には休んで頂くなど臨機応変に対応しています。逆に骨折にて安静を要する方の「起きたい」要望に対して応えられない難しさの 때가 困ります。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	おしゃれ好きな方、身ぎれいにされる方は、その思いを尊重して楽しんで頂きます。なるべくご本人選択した衣類に対し「素敵」と言葉をかけるよう努めています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の下ごしらえは皆さんで参加しています。ゴマすりや和え物作りなど、能力に応じて参加してもらっています。お膳ふきは交代制にして手伝ってもらっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の好みに応じた飲み物を提供し必要量を摂取できるよう声掛けをしています。食材に対する咀嚼能力など、その都度観察を行い、最近ではミキサー食にも対応しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々の状況に応じて口腔ケアを行い記録に残しています。自己管理している方についても定期的に口腔内を確認し清潔を保っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄能力に応じて夜間オムツ対応の方も日中はトイレ誘導を行うなどしています。又、チェック表を用いて個々の排泄パターンに応じた排泄誘導を行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々に応じた飲み物の工夫を行いながら飲水を促すほか体操もしています。ヨーグルト摂取など薬に頼らない便秘対策にも取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は曜日によって決まっていますが、時間帯に関しては日中を通じてご本人の希望に添って対応しています。また、季節に応じて柚子湯やしょうぶ湯など工夫をしています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	心地よい休息を取って頂くために室温調整や明るさに配慮しています。夜間不眠傾向の方へは眠剤投与も行っていますが、日中の活動内容など検討を重ねています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	臨時薬が処方された場合は、副作用にも注意しています。排便コントロールについては、主治医と相談しながら日々調整して対応しています。誤薬のないよう確認を2人で行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物たたみや調理など毎日の暮らしに張りがあるよう得意なことを中心に行ってもらっています。また外出が好きな方は買い物と併せて支援するなど工夫しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	職員が動ける範囲では対応している現状です。時に家族や実習生等の協力のもと自宅や戸外へ外出することもあります。遠方への外出が少ない事が課題です。動物園への遠足なども企画しましたが悪天候の理由でできませんでした。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を所持し、使える方は2名です。ご本人用の仏壇の花を買いに行ったり、一緒に買い物に出かけたりしています。事業所で賄えることが多く、最近はお金の使う機会が少なくなりました。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご本人のご要望に応じてその都度対応してます。あまりにも頻会でご家族も困っている場合は、ご家族と相談し職員が内裏応答するなど臨機応変な対応をしています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビングには季節の花を飾り、季節を感じられる壁面作りを心掛けてます。室温計、湿度計を確認しながら調整し、衣類などで個人の好みに調整しております。クーラーが嫌いな方には重ね着をして頂くなど工夫をしています。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>個々に応じ居室で二人で過ごして頂いたり、ソファーと一緒に腰掛け、馴染みの関係作りに配慮してます。また、テレビを持ち込まれ、他者を招く方もいます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご本人やご家族のご希望に応じ、できるだけ馴染みのものを使って頂いています。中には家族用の飲み物を居室に設置している方もいます。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ベランダには段差があり、1階に下りるには急な階段があり、自立した生活を送っていたくには、見守りが欠かせない状況にあります。トイレなどは見当がつきやすいよう手作りのもので表記しています。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
		○	1 ほぼ全ての利用者が

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		4 ほとんどいない
		○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
		○	1 ほぼ毎日のように
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
		4 全くいない	
		○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない